

# 公益財団法人平野政吉美術財団

## 令和 5 年度事業報告

### <総括>

令和 5 年度の事業については、平野政吉コレクション、および藤田嗣治作品の展示公開、教育普及活動、および調査研究を行った。

美術館の指定管理については適切に実施した。

- ・展示公開事業は、常設展の他、特別展を 4 回、企画展を 1 回、開催した。大衆文化が花開いた大正時代にフォーカスした特別展「乙女デザイナー—大正イマジユリィの世界—」では、書籍の装幀や、挿画、雑誌の表紙、ポスターなどを展観。従来の来館者に加え文学ファンなどにも好評の展覧会となった。『北斎漫画』の全 15 編を展観した特別展「浦上コレクション 北斎漫画—驚異の眼・驚異の筆—」は、葛飾北斎のあらゆるものを描き尽くした多才ぶりに来館者が魅了されていた。また、会期を前期と後期に分けることでリピーターが増加、多くの方にご来館いただいた。藤田嗣治作品、斎藤真一作品を展示した特別展「旅する画家 藤田嗣治・斎藤真一」では、画家の創作の源泉となった「旅」にまつわる作品を展観、画家の新たな側面を知る展覧会となった。また、藤田と斎藤のつながりを紹介した映像や資料の展示が好評だった。ナショナル ジオグラフィックが所有するコレクションの中から、様々なテーマに分けて写真作品を展示した特別展「ナショナル ジオグラフィック展 地球の真実」では、地球上の動植物、人類の文化、多様な環境など小さな子どもから大人まで興味を深める作品を展観した。企画展「平野政吉コレクション 空を見つめる」では、画家が見つめ、心を寄せた「空」をテーマに展観した。
- ・教育普及事業としては、年度を通して講演会を 4 回実施した。特別展関連では、展覧会監修者や作品所蔵者に講師を依頼した。作品や作家の研究者、専門家を招いての講演会は大変盛況であった。ワークショップ、美術館教室をあわせて 7 回行った。ギャラリートークについては、学芸員が担当した。企画展・特別展はそれぞれの展覧会会期中、2~3 回実施した。《秋田の行事》について解説する定例ギャラリートークは月 1 回および竿燈期間に実施した。
- ・調査研究の成果としては、新聞、雑誌への寄稿において、学芸員が展覧会に関連する調査研究成果、および藤田嗣治に関する研究成果を発表した。
- ・美術ホール運営事業は、特別展「ナショナルジオグラフィック展 地球の真実」の会場として美術ホールを活用したほか、身体障害者福祉協会や魁新報社など周辺施設を併せて利用する比較的規模の大きい団体などが入場者数 1,000 人を超える展覧会を開催した。
- ・売店事業は、来館者へのサービスの一貫として、業者への委託販売とインターネットでの販売を展開した。

### I 展示公開事業

(1) 常設展示事業

常設展 平野政吉コレクションⅠ

- 1 会 期 令和5年4月22日(土)～7月2日(日)
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 平野政吉コレクションの中から、妻・マドレーヌをモデルにした作品やアトリエを描いた作品を展観した。
- 4 入場者数 11,519人

常設展 平野政吉コレクションⅡ

- 1 会 期 令和5年7月8日(土)～9月10日(日)  
※休館日 8月8日(火)
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 藤田嗣治が描いた作品のなかから、中国に取材した大作、《秋田の行事》のための素描などを紹介した。
- 4 入場者数 15,600人

常設展 平野政吉コレクションⅢ

- 1 会 期 令和5年9月16日(土)～11月12日(日)
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 平野政吉コレクションの藤田嗣治作品の中から、妻・マドレーヌをモデルとした肖像画やパリの風景を描いた作品群を展示した。
- 4 入場者数 8,556人

常設展 平野政吉コレクションⅣ

- 1 会 期 令和5年11月18日(土)～令和6年1月21日(日)  
※休館日 令和5年12月31日(日)～令和6年1月2日(火)
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 平野政吉コレクションから、中南米に取材した作品、アトリエなどの室内を描いた作品を展示した。
- 4 入場者数 11,233人

常設展 平野政吉コレクションⅤ

- 1 会 期 令和6年1月27日(土)～4月14日(日)  
※休館日 令和5年3月11日(月)～3月20日(水)
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 平野政吉コレクションから、藤田嗣治が描いた豊かな色彩が溢れる1930年代の作品群を展示するほか、中国や沖縄に取材した作品などを展示した。
- 4 入場者数 5,373人

(2) 企画展示事業

企画展 平野政吉コレクション 空を見つめる

- 1 会 期 令和6年1月27日(土)～4月14日(日)  
※休館日 令和6年3月11日(月)～3月20日(水)
- 2 会 場 ギャラリー1・2

- 3 内 容 時間や季節、天候によって様々な姿を見せる「空」。常に私たちの頭上に在りながらうつろい続ける空は、二度と同じ姿を見せることはない。画家たちは、空が見せる一瞬の表情を切り抜き、あるいは画家自身の心情を空に託して描いた。本展では、平野政吉コレクションのなかから、空が描かれた作品を展観した。
- 4 入場者数 5,373人

### (3) 特別展示事業

#### 特別展 乙女デザイン—大正イマジユリィの世界—

- 1 会 期 令和5年4月22日（土）～7月2日（日）
- 2 会 場 ギャラリー1・2
- 3 内 容 展覧会では、第一部と第二部に分けて作品を展示した。第一部では、アール・ヌーヴォー様式の橋口五葉、アール・デコに取り組んだ杉浦非水や小林かいち、少女趣味の高島華宵、抒情的な乙女像で一世を風靡した竹久夢二、そして秋田出身の橘小夢など、大正イマジユリィを生み出した作家に着目し作品を展示した。小林かいちなど秋田では初めての紹介となる作家も多く、また油彩画家が手がけた挿画やデザイン画などは画家の新たな側面を知るきっかけとなり、来館者に多くの気づきを与える展示となった。第二部では、大正という時代のもとに生まれたイマジユリィとして関東大震災、子どもや女性、浮世絵へのオマージュなどをテーマに作品を展観。大正時代は15年という短い期間ではあるが、社会・文化の面で大きな変化があった時代だった事を、作品を通して紹介した。
- 4 入場者数 11,519人

#### 特別展 浦上コレクション 北斎漫画—驚異の眼・驚異の筆—

- 1 会 期 令和5年7月8日（土）～9月10日（日）  
※休館日 令和5年8月8日（火）
- 2 会 場 ギャラリー1・2
- 3 内 容 世界的にも著名な江戸時代の浮世絵師・葛飾北斎の代表作『北斎漫画』を展示した。当時の幅広い層から好評を博したことで全15編のロングセラーとなった本作は、人々の生活の様子や動植物、自然現象、神仏や幽霊など森羅万象ありとあらゆるものが描き出されている。本展では、世界の質と量を誇ると称される浦上満氏のコレクションより、厳選した約200点を前期、後期に分けて紹介。保存状態の良い図を多く展示することができ、来館者に北斎の驚異的な観察眼とデッサン力で描かれた『北斎漫画』の魅力を感じ取ってもらうことができたと考えている。
- 4 入場者数 15,600人

#### 特別展 旅する画家 藤田嗣治・斎藤真一

- 1 会 期 令和5年9月16日（土）～11月12日（日）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2
- 3 内 容 展覧会では、「旅」をテーマに藤田嗣治作品、斎藤真一作品を展示した。旅が画家にどのような影響を与えたのか、画家が旅先で何に心動かされたのかを、作品を通して紹介した。この展覧会で斎藤真一という画家を初めて知ったという来館者も多く、鑑賞者に作品や作家との新たな出会いを提供することができたのではないかと考えている。また、本展では斎藤真一ご遺族のご協力もあり、映像資料や斎藤が実際に使用していた

トランク、カメラなども参考資料として展示。藤田と斎藤の関係性や、画家が生活していた時代や雰囲気がよくわかると好評だった。

4 入場者数 8,556人

#### 特別展 ナショナル ジオグラフィック展 地球の真実

- 1 会 期 令和5年1月18日(土)～令和6年1月21日(日)  
※休館日 令和5年12月31日(日)～令和6年1月2日(火)
- 2 会 場 県民ギャラリー、ギャラリー1・2
- 3 内 容 展覧会では、創刊135年を迎えた雑誌『ナショナル ジオグラフィック』に掲載された写真を展覧した。本誌にはこれまで、徹底した取材による記事とともに世界有数のカメラマンたちによって撮影された美しく迫力溢れる写真が掲載され、世界中の人々に驚嘆と感動を与えている。本展では、ナショナル ジオグラフィックが所有するコレクションの中から「冒険・探検の記録」「野生の自然」「自然科学」「人類と文化」の4つのテーマに分けて展示した。動物の写真のような小さな子どもが親しみを持つものから、地球環境、各国の民族文化など多彩なジャンルの作品を展示したことで、老若男女幅広い方々から写真への興味を引き出すことができたのではないかと考えている。

4 入場者数 11,233人

※同時開催の展覧会の入場者数は、各々表記した。

## II 教育普及事業

### (1) 講演会等

#### 特別展「乙女デザイナー—大正イマジユリィの世界—」関連講演会

- 1 演 題 「大正イマジユリィのあれこれ」
- 2 実施日 令和5年5月14日(日)
- 3 会 場 レクチャールーム
- 4 講 師 山田俊幸氏(本展監修者・元帝塚山学院大学教授)
- 5 内 容 本講演では、「イマジユリィ」という言葉の意味や、竹久夢二、小林かいち、橘小夢、蒔谷虹児など本展出品作家を中心に解説。とくに夢二については、その生涯や作品、秋田出身で夢二作品のモデルとなったお葉さんについてもお話しいただいた。また、まぼろしの画家と呼ばれていたかいちについては、研究の近況や作品の特徴、モチーフについて詳しく解説していただいた。大正イマジユリィの魅力を知るひとときに、参加者は熱心に聴き入っていた。
- 6 参加者数 22人

#### 特別展「浦上コレクション 北斎漫画—驚異の眼・驚異の筆—」関連講演会

- 1 演 題 「世界を驚かせた北斎と『北斎漫画』」
- 2 実施日 令和5年7月8日(土)
- 3 会 場 県民ギャラリー
- 4 講 師 浦上満氏(本展監修者・浦上蒼穹堂代表)

- 5 内 容 展覧会への作品の出品・監修を務めている浦上蒼穹堂代表の浦上満氏を講師に講演会を開催。葛飾北斎が世界的に高い評価を受ける端緒となった『北斎漫画』の魅力について紹介していただいた。北斎の観察眼やデッサン力と図に織り込まれたユーモアを解説していただきながら、半世紀以上にわたり約 1,650 冊を収集した屈指のコレクターならではの興味深いお話から『北斎漫画』の奥深さに触れる機会となった。
- 6 参加者数 43人

#### 特別展「旅する画家 藤田嗣治・斎藤真一」関連講演会

- 1 演 題 「藤田さんへの想い 斎藤真一を語る」
- 2 実施日 令和5年9月16日（土）
- 3 会 場 レクチャールーム
- 4 講 師 斎藤裕重氏
- 5 内 容 斎藤真一のご子息である斎藤裕重氏を講師にお招きし、講演会「藤田さんへの想い 斎藤真一を語る」を開催。斎藤の画業を、作品画像や斎藤が旅行先で撮影した写真などを交えながらご紹介いただいた。また、斎藤が1959年に藤田を撮影した8mmフィルム映像なども上映。優しげなまなざしを向ける藤田の様子から、ふたりの絆を知る大変貴重な機会となった。
- 6 参加者数 24人

## (2) ワークショップ・美術館教室

#### 美術館教室「夏休み子どもと楽しむギャラリートーク」

- 1 実施日 令和5年8月19日（土）
- 2 会 場 レクチャールーム
- 3 講 師 学芸員
- 4 内 容 『北斎漫画』には江戸時代の人物や動物、文化など北斎が生きた当時にあったありとあらゆるものが登場する。それらは北斎によって生き生きと描き出されており、森羅万象を描いたといわれる絵師の魅力が詰め込まれている。作品に描かれた様々な図を純粋に楽しみながら読み解きつつ、現代では馴染みのない文化やモチーフについて子どもでも分かるように平易な言葉で解説。描かれたものに対して関心を高めてもらうことで作品により親しみを感じてもらうことができた。
- 5 参加者数 3人

#### 美術館教室「手話による作品解説」

- 1 実施日 令和5年9月30日（土）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 講 師 学芸員、手話通訳者
- 4 内 容 藤田嗣治の《秋田の行事》と、藤田作品を中心とした平野政吉コレクションについて、当館学芸員が手話通訳者を介して作品を解説した。2F 大壁画ギャラリーを回り、藤田がパリ時代に確立した「乳白色の下地」や、1930年代の色彩豊かな表現で描かれた作品を紹介し、画家・藤田嗣治の画業の足跡を辿った。そして、《秋田の行事》が描かれた背景や、当時の秋田の人々の暮らしに触れた。今回の美術館教室には、作品に興味のある方や、手話を使う方、手話に興味のある方など、様々な方が参加した。手話を介しながら普段よりゆるやかなペースで進行した中、参加者からは「手話の勉強も出来て、

とても良かった」「これを機会にいろいろ見てみたい」といった声をいただいた。手話による解説を通じて、多様な参加者が作品の魅力を深く味わい、手話や美術への関心を高める機会となった。

6 参加者数 16人

#### 美術館教室「大人のための館長講話ー子どもの絵についてー」

- 1 実施日 令和5年10月1日（日）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 澁谷重弘氏（秋田県立美術館 館長）
- 4 内容 講師の秋田県立美術館館長・澁谷重弘より、子どもの美術教育を研究してきた教育者としての観点から、幼少から小学校中学年頃までの時期を中心とした、子どもと美術との関わりについてお話しした。講話では、実際に子どもが描いた作品を紹介しながら、発達段階に応じて表れる子どもの絵の特徴や、絵に描かれた太陽、花などのモチーフや造形の意味を解説した。そして、子どもの主体的な表現活動を促す声かけの仕方について説明。これまでの子どもとの関わり方を振り返り、今後の美術教育の一助となる講話となった。

5 参加者数 3人

#### ワークショップ「消しゴムハンコでモダンデザイン絵はがきづくり」

- 1 実施日 令和5年6月17日（土）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 学芸員
- 4 内容 はじめに、特別展「乙女デザイナーー大正イマジユリィの世界ー」に出品されている絵はがきについて学芸員が解説。参加者は、大正時代に人々を魅了したデザインについて理解を深めた。次に参加者はバラの絵柄を彫って消しゴムはんこの作り方の基本を学び、はがきサイズの厚紙に様々なはんこを押して絵はがきをデザインした。自分で彫ったはんこをはじめ、花や葉、女性や鳥などのノスタルジックなモチーフのはんこに思い思いの色をつけ、参加者それぞれの個性があふれる作品が完成した。絵はがきづくりを通して、大正時代に想いを馳せるひとときとなった。

5 参加者数 5人

#### ワークショップ「ステンドグラスオーナメントをつくろう」

- 1 実施日 令和5年12月16日（日）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 学芸員
- 4 内容 藤田嗣治が晩年に手がけた礼拝堂には、美しいステンドグラスが施されている。このたびのワークショップでは、ステンドグラスをイメージしたオーナメントを作った。材料は、硬化するとガラスのような質感に変化するレジン。ハートやダイヤ、星などの型枠に色とりどりの色紙をちりばめ、レジンをコーティング。レジンが浸透した色紙は半透明となり、淡い光を通す。レジンを硬化させ、最後にストラップを通して完成。色とりどりの光を通す、クリスマス時期にもぴったりのオーナメントが出来あがった。

5 参加者数 10人

#### ワークショップ「ピンホールカメラをつくろう！」

- 1 実施日 令和6年1月20日（土）

- 2 会 場 レクチャールーム  
 3 講 師 学芸員  
 4 内 容 同期間に開催中の特別展に合わせてカメラに関するワークショップを開催。現在のカメラの元となったとされる装置と同様のピンホール現象を利用したカメラの作成をしてもらった。はじめにカメラの歴史や現象について解説し、その後牛乳パックをベースにピンホールカメラ作りに挑戦。参加者はトレーシングペーパーや画用紙を切り貼りしたり正確性が必要な作業に試行錯誤を重ねながら、それぞれのカメラを完成させた。
- 5 参加者数 9人

#### ワークショップ「館長講座 絵手紙をかこう」

- 1 実施日 令和6年2月18日（日）  
 2 会 場 レクチャールーム  
 3 講 師 澁谷重弘氏（秋田県立美術館 館長）  
 4 内 容 参加者は、しいたけ、みかん、いちご、チューリップ、フリージアをモチーフに、水彩と墨で描く絵手紙に挑戦した。ワークショップでは、館長から絵手紙の描き方やモチーフの特徴を捉えた表現の仕方を学び、5枚の絵手紙を制作。参加者は水彩画の特徴を活かしながら、個性豊かな線や色で描き、季節の絵手紙を完成させた。
- 5 参加者数 14人

#### 美術館教室「南米民族楽器コンサート」

- 1 実施日 令和5年12月10日（日）  
 2 会 場 エントランスホール  
 3 講 師 学芸員  
 4 奏 者 秋田大学南米民族音楽サークル La-mia  
 5 内 容 コンサートでは、はじめに学芸員が藤田嗣治と中南米の関わりを解説。藤田が惹かれた中南米の文化や風土、旅先で収集した品々を紹介した。その後、秋田大学南米民族楽器サークル La-mia より、南米の民族音楽を演奏していただいた。日本でも有名な「コンドルは飛んでいく」「花まつり」をはじめ、南米の空気を存分に感じられる曲を披露。曲の合間には、古い歴史を持つサンポーニャ、リヤマやアルパカの爪が使われたチャフチャスなど、演奏に用いる楽器についても紹介していただいた。参加者は藤田の旅に思いを馳せながら、心に響く音色に耳を傾けていた。
- 6 参加者数 35人

#### ワークショップ「ランプシェードをつくろう」

- 1 実施日 令和6年2月3日（土）、4日（日）  
 2 会 場 にぎわい交流館 AU1階  
 3 講 師 学芸員  
 4 内 容 なかいちウインターパーク「童っこの雪まつり」において、にぎわい交流館 AU を会場に「ランプシェードをつくろう」を開催した。ワークショップでは、和紙を貼ったプラコップに、ちぎった花紙を思い思いに飾りつけた。美術館学芸員のアドバイスを受けながら、参加者は花紙を重ねて好きな色を作ったり、秋田犬や猫、キャラクターなどを表現したりと、個性豊かなランプシェードが完成した。
- 5 参加者数 95人

(3) 学芸員によるギャラリートーク

特別展「乙女デザイナー—大正イマジユリィの世界—」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和5年4月22日(土)、5月20日(土)、6月17日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 66人

特別展「浦上コレクション 北斎漫画—驚異の眼・驚異の筆—」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和5年7月23日(日)、8月26日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 51人

特別展「旅する画家 藤田嗣治・斎藤真一」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和5年9月23日(土)、10月21日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 38人

特別展「ナショナル ジオグラフィック展 地球の真実」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和5年11月18日(土)、12月2日(土)、令和6年1月13日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 58人

企画展「平野政吉コレクション 空を見つめる」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和6年2月17日(土)、3月23日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 20人

常設展関連 定例ギャラリートーク《秋田の行事》を読み解く

- 1 実施日 令和5年4月1日(土)、5月6日(土)、6月3日(土)、7月1日(土)、8月3日(木)、8月4日(金)、8月5日(土)、8月6日(日)、9月2日(土)、10月7日(土)、11月4日(土)、12月2日(土)、令和6年1月6日(土)、2月3日(土)、3月2日(土)
- 2 会場 大壁画ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 301人

### Ⅲ 調査研究事業

#### 1. 新聞寄稿

##### 作品解説

- ・佐々木佳苗「竹久夢二《涼しき装ひ》、竹久夢二《汝が碧き眼を開け》(セノオ楽譜56番)」  
—特別展「乙女デザイナー—大正イマジユリィの世界—」出品作品『秋田魁新報』すいよう

学芸館、令和5年5月10日

- ・佐々木佳苗「小林かいち『彼女の青春』」－特別展「乙女デザイナー大正イマジユリイの世界」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和5年6月14日
- ・小泉俊貴「葛飾北斎《相撲四十八手》三編、《百面相》十編、《魚籃観世音》十三編、《出羽秋田の菘》七編、《紋様尽し》三編」－特別展「浦上コレクション 北斎漫画－驚異の眼・驚異の筆」出品作品『秋田魁新報』驚きの北斎漫画1～5、令和5年7月4日～7月8日
- ・小泉俊貴「葛飾北斎《雀踊り》三編、葛飾北斎《西洋砲で海魔を撃つ十一編》、葛飾北斎《海魔・狩人と大鳥》十一編」－特別展「浦上コレクション 北斎漫画－驚異の眼・驚異の筆」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和5年8月2日
- ・佐々木佳苗「斎藤真一《陽の雪野》、藤田嗣治《カーナバルの後》」－特別展「旅する画家 藤田嗣治・斎藤真一」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和5年9月13日
- ・小泉俊貴「フランス・ランティン《たそがれどきの巨人たち》、ステューブ・マッカーリー《アフガン難民の少女》、野町和嘉《等身大の射手》」－特別展「ナショナル ジオグラフィック展 地球の真実」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和5年11月22日
- ・佐々木佳苗「アントン・モーヴ《憩える牛》、亜欧堂田善《富士山頂図》」－企画展「平野政吉コレクション 空を見つめる」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和6年1月31日

#### IV 美術ホール運営事業（貸しホール事業）

##### 1. 事業内容

- ・県民ギャラリーの利用者に対しては展示構成を確認し、展示作業の補助および作業監視を行った。
- ・大型の特別展事業を行った。
- ・特別展「ナショナルジオグラフィック展 地球の真実」では美術ホールを使用して展示を行った。
- ・セカンドスクールで来館した児童・生徒に、美術ホールで開催している展覧会の鑑賞を勧め、特別展や企画展との相互利用を促した。

##### 2. 実績

総入場者数 27,672人

##### 主な使用履歴

- ・第65回秋田県美術展覧会 写真部門展示 主催：秋田魁新報社  
令和5年6月23日（金）～28日（水） 入場者数：1,828人
- ・誰でも参加できる書の祭り「書友展」～書で秋田を元気に！～ 主催：（有）書友社  
令和5年8月19日（土）～21日（月） 入場者数：1,118人
- ・秋田県障害者芸術福祉展 主催：秋田県身体障害者福祉協会  
令和5年11月9日（木）～11日（土）、入場者数：1,377人
- ・秋田公立美術大学卒業・修了展2024「ここにいる、ここがある。」  
主催：秋田公立美術大学 令和6年2月15日（木）～19日（月）  
入場者数：2,156人
- ・第63回 全県新年書きぞめ展 主催：（有）書友社  
令和6年3月2日（土）～4日（月） 入場者数：1,828人

## V売店事業

### 1. 事業内容

- ・インターネットでの《秋田の行事》額絵の販売。
- ・秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者・光風舎へ委託販売。

### 2. 実績

・売り上げ総計                    15品        3,120枚

#### 内訳

《秋田の行事》レプリカ                    686枚

《秋田の行事》額絵                        38枚

絵はがき12種                                2,396枚